

## 第 21 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2015 年 3 月 17 日(火) 10:00~12:00  
場 所：米崎地区コミュニティセンター  
出席者：13 団体 24 名（内オブザーバー1 団体 1 名）  
進行/文責：酒井（事務局）

### 1. 運営委員会報告（事務局より）（10:00~10:10）

#### ➤ 第 15 回運営委員会の報告

第 15 回運営委員会を 2/4（水）に開催し、今年度事業の振り返りを実施。①団体連携、②官民連携、③地域連携、および④情報発信/普及啓発の 4 項目で事業内容を振り返った。次年度は、①では会議の場での情報共有を継続すること。②では定期的な情報共有とコミュニケーション、③では地域団体を洗い出し、活発なところからコミュニケーションを取る事、④では既存のツールを活用して情報発信を継続することとなった。

#### ➤ 津波警報・注意報発令時の会議中止判断について

2 月の支援連絡調整会議中止を受けて、事務局では改めて津波警報・注意報発令時の会議中止判断について検討、今後以下の通りとする。

○津波警報・注意報が発令された場合、予定していた会議は中止とする。

○会議前日に発令された場合、翌朝 7 時に発令されていれば会議は中止とする。

※仮に 7 時以降に解除となっても中止（余震の可能性などあるため）。

※今後、会議参加申込み時に、会議当日連絡可能な携帯番号もお知らせいただく。

#### ➤ 平成 26 年度支援概況調査のお知らせ

ネットワーク連絡会の時から実施している支援概況調査を本年度も実施する。毎年集計結果を共有し、高い評価をいただいている。今年度は、昨年同様に 2 種類のシートに記入いただきたい。個別にメールにて送付するので、忙しい時期ではあるが回答にご協力いただきたい。

### 2. 活動報告（全体）（10:10~10:30）

- ・全参加団体より活動報告および次年度に向けて共有事項があれば報告
- ・質問あれば適宜。各団体 2~3 分程度で報告

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 21 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載

◆活動報告

1～6	陸前高田市仮設住宅連絡会／井上	連絡会通信第 11 号と特別号を配布。特別号は、住宅の自立再建等に関して、仮設全戸で行われた意識調査の集計報告。3/8（日）下和野災害公営住宅で久慈高校マンドリン演奏会を開催し、下和野住民も約 10 名参加。新たなコミュニティづくりや知り合いづくりのきっかけとなった。演奏会の詳しい報告は次号の連絡会通信に掲載する予定。
7	NEC ネットエスアイ（ひまわりハウス）／村上	2/23（月）おはなしペパンによる大人のおはなし会を開催。約 15 名参加し好評だった。次年度も引き続き活動する。
8	いわて連携復興センター／葛尾	これから中間支援団体としてみなさんのサポートをしていく。復興庁被災者支援コーディネート事業なども行っているの、必要な情報等を提供していきたい。
9～10	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／木下	1 月から絆クラブ（まちづくりクラブで活動している子どもたち）が、高田の今を子どもの視点でみる「まちフォト」を実施。現在、りくカフェでパネルを展示中（春休み中）。他にも展示希望があれば声をかけていただきたい。5/5（火）東北子どもまちづくりサミットを開催する予定。詳細は今後お知らせするが、ぜひ足を運んでいただきたい。
11～12	大船渡地区被災者相談支援センター／高橋	被災者相談支援センターだよりを配布。専門家相談への行政書士の派遣は今年度で終了。気仙地区では毎月第 2 土曜日に陸前高田市役所で行われる「行政書士無料相談」を活用して欲しい。専門家相談は被災者対象と PR しているが、被災した方を支援する団体や気仙地域の方々にも活用してもらえるので、引き続き利用と周知をお願いしたい。
13	高田大隅つどいの丘商店街／山本	イベント告知→4/12（日）「第 9 回復興グルメ F-1 大会」が大槌町の福幸きらり商店街で開催される。岩手・宮城・福島の 13 仮設商店街の連携企画として実施。詳細は FB ページか山本まで問合せいただきたい。
14～15	国境なき子どもたち（KnK）／畠山	子どもの居場所づくりとして、小中学生を対象に子どもセンターを走らせている。今年に入って地域交流会を開き、仮設住民が主導になって子どもたちを見守れる環境づくりの活動も行っている。
16	岩手大学三陸復興推進機構／佐々木	3/10（火）・14（土）・15（日）市民講座として研修を実施。陸前高田では「物語を作る質問の仕方～傾聴のその先にあるもの」と題して開催、約 16 名参加。岩大は、30 程度のチームで獣医や学生のボランティアなどそれぞれの特徴

		を活かして活動。「こんなことできないか？」等あれば相談して欲しい。来年度まで釜石サテライトの相談ルームで相談を受付けている。最近「何か疲れた」という支援者もいる。病院に行くほどではないが、何かモヤモヤすることがあればいらして欲しい。
17	いわて三陸 復興のかけ橋プロジェクト／鈴木	三陸復興のかけ橋事業は次年度も継続するが、助け合いジャパンの受託は3月で終了。質問や4月以降の動きについては、直接県庁政策推進課に問合せいただきたい。イベント告知→3/21(土)・22日(日)一本松茶屋にてたい焼き販売イベント(神奈川県座間の災害ボランティアネットワーク)。千円以上の買物レシートで1枚提供。たい焼きのみは1枚100円で販売。2/25(水)沿岸交流会(助成金についての相談会)を実施、約20人が参加した。
18	パクト／桑久保	昨年末から1月にかけて実施したReady forによるサポートステーションの運営事業への寄附は、1月末で267万4千円(106%)を達成。これを受けて次年度のサポートステーションの運営を行う。次年度も、陸前高田と皆をつなぐ窓口としてサポートステーション事業、子ども事業、二又復興交流センター運営事業の3本柱で運営していく。
19	難民支援協会／石井	仙台で開催中の国連防災世界会議について共有。国連の会議と仙台市が呼びかけるパブリックフォーラムの他に、「市民協働と防災」をテーマに国連の会議に対してNPOの会議をやろうという試みがありそこに参加。本日午後に市民防災宣言を採択する予定。協会は、マイノリティグループに震災から4年経過しても十分な対策が講じられていないことに対する報告でファシリテートをした。今後、各地域で政策化していけるよう、このような場でも伝え議論を盛り上げ、Webサイトでも発信していく。市民防災世界会議もしくはJCC2015で検索できるのでぜひ見て欲しい。
20	陸前高田市被災者支援室／佐々木	今月大きな動きはないが、本日で議会が終了し予算が固まる。来年度も継続していく。
21	まちづくり協働センター／黄川田	PFの事務局運営、講座開催、市民会議(今年度は高田地区)など次年度も継続していく。市民会議については、他の地区からの開催希望があればぜひ開催したいので、地域からの声があればセンターまで教えていただきたい。

### 3. 陸前高田市まちづくりプラットフォームの考える陸前高田のまちのビジョン検討（テーブル議論）

<2G教育・子ども／女性・子育て+1Gメンバー>

子ども、教育に特化しつつ、子どもや若者だけでなく、年配者の視点も項目、及びアクションに追加した。「市民の暮らしが安定したまち」の項目では、子どもの安全についてのアクションが抜けていたので、この部分に沢山アイデアが出された。詳細は、確認させてもらいながら表に反映して共有する。

<3G商業・観光・産業+1Gメンバー>

「市民の暮らしが安定したまち」の項目に、生活困窮者の方々にとって暮らしやすいまちを追加。全体を通して、NPO だけでできることは難しい。各地域でも様々な動きがあり、ノウハウを持っているが地区内に留まっている部分があるので、それを他地区にも広げ、ノウハウを伝える立場として、また、行政から出されたもののかみ砕いて住民に伝えることはできるのでは、との意見が出された。詳細は表に反映して共有する。

### 4. その他

➢ 陸前高田 NPO キャラバン in 東京について（難民支援協会、事務局より）

震災から4年の間、NPO が様々な支援を行い、また、今後も陸前高田のまちづくりに関わっていく中で、現状とNPOの活動について伝える機会を関東で持つことを難民支援協会から提案頂き、「陸前高田 NPO キャラバン in 東京」という企画として準備を進めている。

7月11日（土）に東京都内での開催を予定。難民支援協会がJPFから助成を受けている部分と、当日の入場料を併せて予算とする方向。陸前高田に関わったOB・OG同窓会、これから関わりたいが何をしたらいいかわからない方々を対象にこれまでと現状の振り返りや、復興計画8年の中間点であるので、市長も招いて今後に向けての話をする場として検討している。実行委員会を中心にメーリングリストで内容をつめながら具体化を進めており、参加する団体を募集している。参加団体の負担進捗は随時報告していくが、次回の実行委員会は4月7日（火）16:00～まちづくり協働センターで行う。関心のある方の参加歓迎。その他、詳細についてご質問があれば事務局まで。

#### 【次回の開催日程】

・ 第22回支援連絡調整会議

4月14日（火）10:00～12:00 ※会場及び詳細は別途連絡